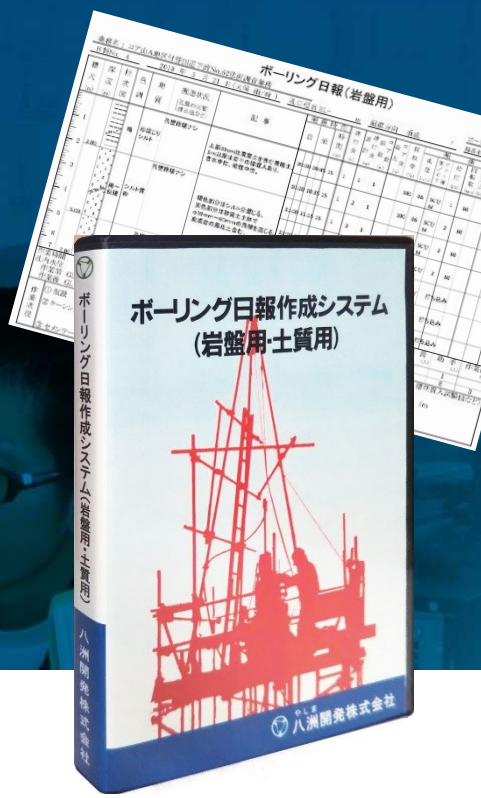
日報作成からメール報告までこれ1本！

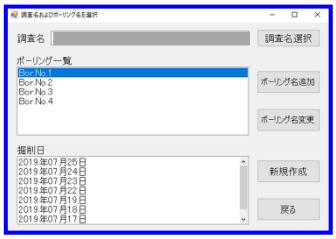
ボーリング日報作成システム（岩盤用・土質用）



発注者や事務所に送るボーリング日報を、ボーリング班が現場のモバイルPCで作成できる『電子日報作成ソフト』に待望の岩盤日報対応版が出来ました！
これまでの土質日報版の使い勝手の良さそのままに岩盤日報を作成・送付することが出来ます。

簡単入力！ 入力欄を埋めていくだけで日報が完成！

予め必要な入力欄がセットされているので、空欄を埋めていくだけで試錐日報の出来上がり！大きめのボタンや、種類をクリックしていくだけで入力可能な土質区分や、ボーリングだけでなく孔内載荷試験・透水試験・PS検層その他の試験深度もあわせて入力・管理できます。

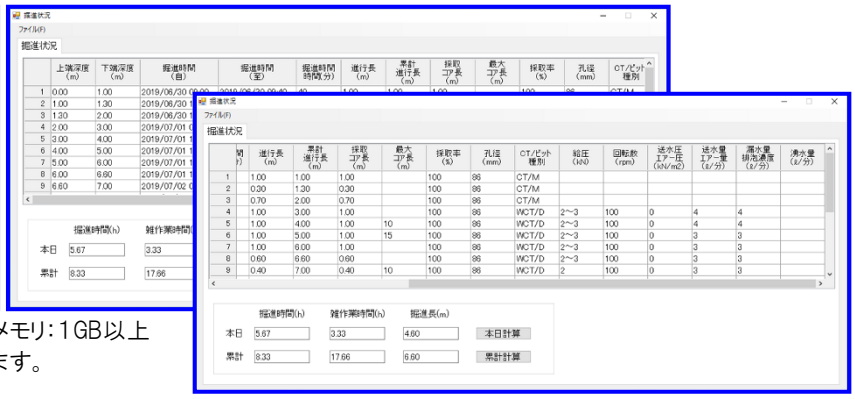


電子日報のメリット 毎日の作業報告はメールで楽々送信！

試錐日報作成システムでは、ソフトウェア上で日報を作成しますので、当然完成する日報は電子データです。xml、Excel、PDF形式で保存でき、システムメニューから報告メールを作成できるので、印刷してFAXする手間も添付ファイルを探す手間がなくなります。

再入力不要 機長の入力データがそのまま柱状図に！！

日報のデータがシステムのデータベース内で地質柱状図として蓄積されていくので、即座にボーリング柱状図として取り出せます。後からの加筆修正もできますので、現場でおおまかな柱状図を作成し、同じデータを使って地質技術者が確認・修正することも出来るので、同じ内容を何度も入力する必要がなくなります。

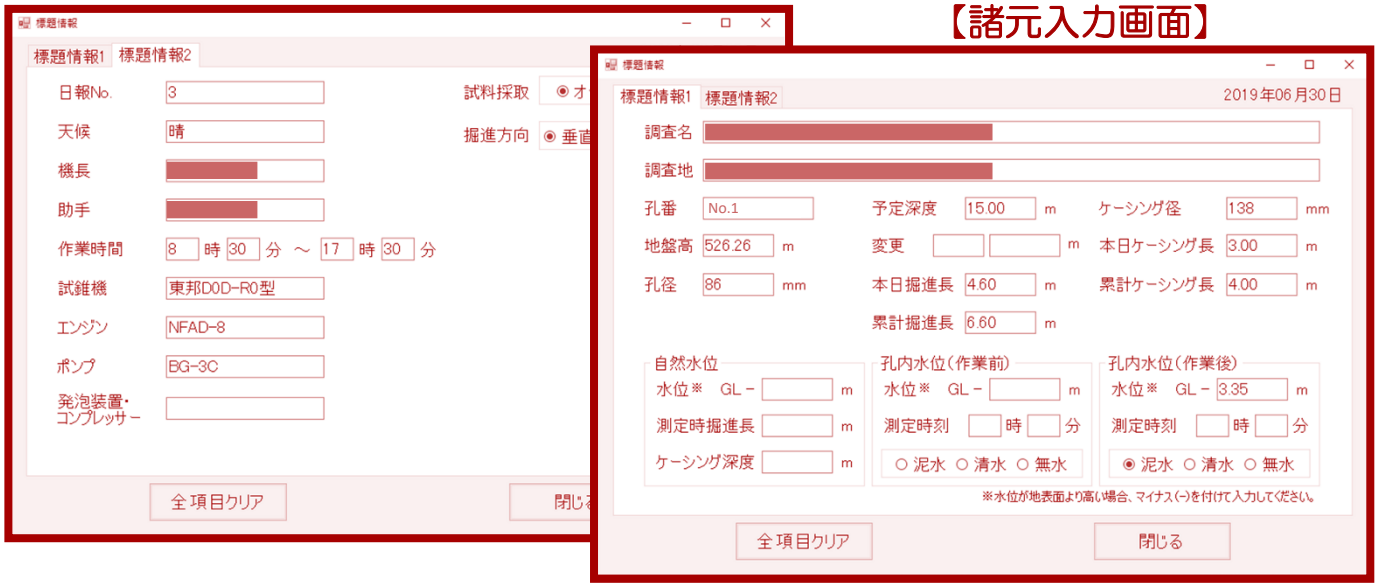


対応OS：Windows 10　CPU：Intel Pentium Ⅲ 1GHz以上　メモリ：1GB以上
別途、MS-Excel、メールソフト（POPメール対応）が必要となります。
販売価格：100,000円（税別）

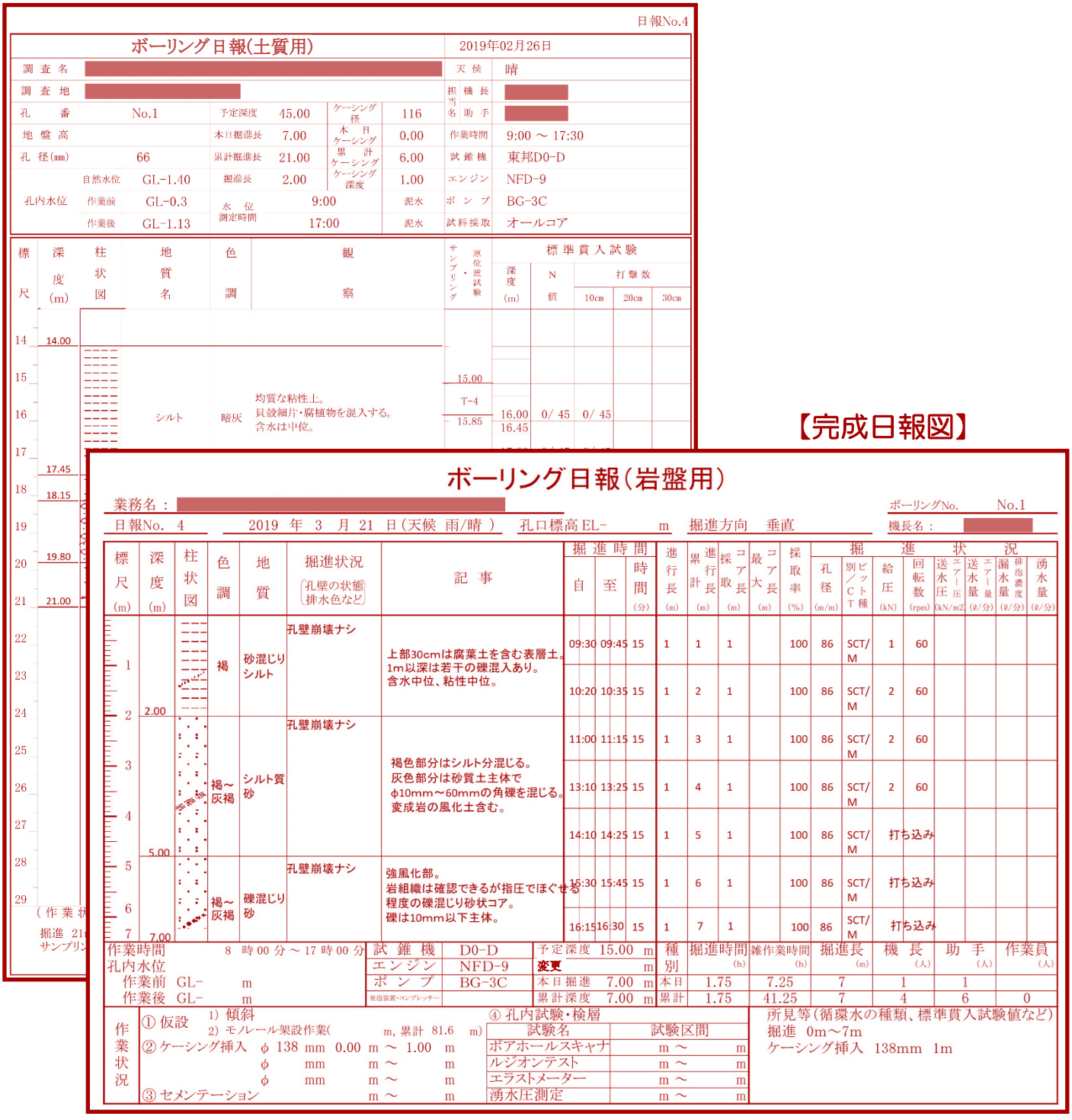
八洲開発株式会社
〒862-0920　熊本市東区月出1-1-52
TEL：096-384-3225　FAX：096-382-7039
http://www.yashima-geo.co.jp

ジーエスアイ株式会社
〒310-0805　茨城県水戸市中央2-8-37
TEL：029-302-5238　FAX：029-302-5248
http://www.gsinet.co.jp

【諸元入力画面】



【完成日報図】



日報No.4

ボーリング日報(土質用) 2019年02月26日

調査名						天候	晴
調査地						担当者 機長	
孔番	No.1	予定深度	45.00	ケーシング径	116	助手	
地盤高		本日掘進長	7.00	本日ケーシング	0.00	作業時間	9:00 ～ 17:30
孔径(mm)	66	累計掘進長	21.00	累計ケーシング	6.00	試錐機	東邦D0-D
孔内水位 自然水位	GL-1.40	掘進長	2.00	ケーシング深度	1.00	エンジン	NFD-9
孔内水位 作業前	GL-0.3	水位測定時間	9:00	泥水		ポンプ	BG-3C
孔内水位 作業後	GL-1.13		17:00	泥水		試料採取	オールコア

標尺	深度(m)	柱状図	地質名	色調	観察	サンプリング・原位置試験	標準貫入試験 深度(m)	N値	打撃数 10cm	20cm	30cm
14	14.00										
15			シルト	暗灰	均質な粘性土。貝殻細片・腐植物を混入する。含水は中位。	15.00 T-4					
16						15.85	16.00 16.45	0/ 45	0/ 45		
17	17.45										
18	18.15										
19											
20	19.80										
21	21.00										

ボーリング日報(岩盤用)

業務名：

ボーリングNo. No.1

日報No. 4　2019 年 3 月 21 日(天候 雨/晴)　孔口標高 EL－ m　掘進方向 垂直　機長名：

標尺(m)	深度(m)	柱状図	色調	地質	掘進状況(孔壁の状態 排水色など)	記事	掘進時間 自	至	時間(分)	進行長(m)	累計進行長(m)	採取コア長(m)	最大コア長(m)	採取率(%)	掘進状況 孔径(m/m)	別ビット/CT種	給圧(kN)	回転数(rpm)	送水圧(kN/m2)	エアー圧	送水量(ℓ/分)	エアー量	排泡濃度(ℓ/分)	漏水量(ℓ/分)	湧水量(ℓ/分)
1	2.00		褐	砂混じりシルト	孔壁崩壊ナシ	上部30cmは腐葉土を含む表層土。1m以深は若干の礫混入あり。含水中位、粘性中位。	09:30	09:45	15	1	1	1		100	86	SCT/M	1	60						
							10:20	10:35	15	1	2	1		100	86	SCT/M	2	60						
3	5.00		褐～灰褐	シルト質砂	孔壁崩壊ナシ	褐色部分はシルト分混じる。灰色部分は砂質土主体でφ10mm～60mmの角礫を混じる。変成岩の風化土含む。	11:00	11:15	15	1	3	1		100	86	SCT/M	2	60						
							13:10	13:25	15	1	4	1		100	86	SCT/M	2	60						
							14:10	14:25	15	1	5	1		100	86	SCT/M	打ち込み							
5	7.00		褐～灰褐	礫混じり砂	孔壁崩壊ナシ	強風化部。岩組織は確認できるが指圧でほぐせる程度の礫混じり砂状コア。礫は10mm以下主体。	15:30	15:45	15	1	6	1		100	86	SCT/M	打ち込み							
							16:15	16:30	15	1	7	1		100	86	SCT/M	打ち込み							

作業時間 8 時 00 分 ～ 17 時 00 分
孔内水位
作業前 GL－ m
作業後 GL－ m

試錐機	D0-D	予定深度 15.00 m
エンジン	NFD-9	変更 m
ポンプ	BG-3C	本日掘進 7.00 m
発泡装置・コンプレッサー		累計深度 7.00 m

種別	掘進時間(h)	雑作業時間(h)	掘進長(m)	機長(人)	助手(人)	作業員(人)
本日	1.75	7.25	7	1	1	
累計	1.75	41.25	7	4	6	0

作業状況
① 仮設 1) 傾斜 2) モノレール架設作業(m, 累計 81.6 m)
② ケーシング挿入 φ 138 mm 0.00 m ～ 1.00 m
φ mm m ～ m
φ mm m ～ m
③ セメンテーション m ～ m

④ 孔内試験・検層

試験名	試験区間
ボアホールスキャナ	m ～ m
ルジオンテスト	m ～ m
エラストメーター	m ～ m
湧水圧測定	m ～ m

所見等(循環水の種類、標準貫入試験値など)
掘進 0m～7m
ケーシング挿入 138mm 1m